

JIS

皿ばねー第2部： 製品仕様及び測定・試験方法

JIS B 2706-2 : 2023

(JSMA/JSA)

令和5年8月21日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 5.8.21

官 報 掲 載 日：令和 5.8.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ばね工業会

(〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町 12 MH-KIYA ビル TEL 03-3251-5234)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号及び単位	2
5 ばねの材料	3
6 形状及び分類	3
6.1 一般事項	3
6.2 グループ	4
6.3 寸法比のシリーズ	5
7 製造方法	5
8 許容応力	5
8.1 静的な力を受けるばね	5
8.2 動的な力を受けるばね	5
9 ショットピーニング	7
10 セッチング	7
11 クリープ及びリラクセーション	7
12 表面処理	9
13 許容差	9
13.1 厚さ	9
13.2 外径及び内径	10
13.3 自由高さ	10
13.4 ばね力	11
14 ガイド（案内）の推奨径	11
15 硬さ	12
16 外観	12
17 ばねの寸法	12
17.1 シリーズ A	12
17.2 シリーズ B	13
17.3 シリーズ C	15
18 測定及び試験	16
18.1 測定器及び試験機器	16
18.2 測定及び試験方法	16
19 検査	18
20 製品の呼び方	19

	ページ
21 表示	19
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	20
解 説	23

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ばね工業会（JSMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。これによって、**JIS B 2706:2013** は廃止され、その一部を分割して制定したこの規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 2706 規格群（皿ばね）は、次に示す部で構成する。

JIS B 2706-1 第 1 部：計算

JIS B 2706-2 第 2 部：製品仕様及び測定・試験方法

白 紙

皿ばね—第2部：製品仕様及び測定・試験方法

Disc springs—Part 2: Product specifications and method of testing

序文

この規格は、2018年に第1版として発行されたISO 19690-2を基とし、製品仕様を見直すなど、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、鋼製の皿ばね（以下、ばねという。）の製品仕様及び測定・試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 19690-2:2018, Disc springs—Part 2: Technical specifications (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0103 ばね用語

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 26909, Springs—Vocabulary

JIS B 0156 ばね記号

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 16249, Springs—Symbols

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7507 製品の幾何特性仕様（GPS）—寸法測定機—ノギス

JIS B 7513 精密定盤

JIS B 7517 ハイトゲージ

JIS B 7533 てこ式ダイヤルゲージ

JIS B 7738 コイルばね—圧縮・引張試験機の校正方法及び検証方法

JIS G 3311 みがき特殊帯鋼

JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 683-1, Heat-treatable steels, alloy steels and free-cutting